

柏崎刈羽原子力発電所 6号機 SFP水位ERSS伝送開始の遅れについて

2022年6月29日
東京電力ホールディングス株式会社

◆ 報告事項

柏崎刈羽原子力発電所 6号機SFP水位のERSS伝送開始について、4月27日の面談において「2022年6月末伝送開始」と報告させて頂きましたが、以下のとおり変更させて頂きたいと思っております。

＜変更前＞ 2022年6月末

＜変更後＞ 2022年8月末

◆ 変更理由

6号機は、新規制基準耐震要求に既設プロセスコンピュータが適合しないため、新たにプラントデータ伝送設備を設置、既伝送項目と新規制基準適合に伴う追加伝送項目の伝送を行うこととして工事進めています。

今回、SFP水位のERSS伝送の準備が完了したことから、伝送試験を行ったところ、新たに設置したプラントデータ伝送設備への伝送項目の入力未完了の為、一部ERSS伝送項目（主排気筒モニタ、SGTSMモニタ等）の伝送ができないことが確認されました。

そこで弊社としては、現行伝送しているデータを欠送させないことを第一として、現在実施中のSFP水位代替措置連絡を継続、新設プラントデータ伝送設備へのデータ入力完了確認後、速やかにERSS伝送開始としたいと思います。

2. K6 SFP水位ERSS伝送遅れの原因

1. 現在、ERSS伝送は既設プロセスコンピュータより伝送
2. 既設プロセスコンピュータは新規規制基準耐震要求を満足できないため、新たに適合設備を設置、プラントパラメータの入力作業を実施中
3. SFP水位のERSS伝送準備が整ったことから伝送試験を行ったところ、上記2の入力作業が完了していないため、一部データ(主排気筒モニタ等)が伝送されないことを確認(本社・発電所ERSS伝送工事所管箇所との工事情報に関するコミュニケーション不足)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

参考 SFP水位ERSS伝送進捗状況 (2022年6月29日現在)



サイト	号機	SFP水位計設置時期	SFP水位ERSS伝送開始時期
1F	1,2	オペフロの環境改善の見通しが立った時点で実施	オペフロの環境改善の見通しが立った時点で実施
	3,4	- (全使用済燃料取出済み)	-
	5,6	設置済み (代替措置実施中)	2022年9月末ERSS伝送予定
	共用P	2023年11月末設置予定 (工程短縮検討・調整中)	2024年1月末ERSS伝送予定 (工程短縮検討・調整中)
2F	1~4	設置済み	ERSS伝送済み (2022年5月)
KK	1~4	設置済み (代替措置実施中)	2022年7月末ERSS伝送予定
	5	2022年7月末設置予定	2022年9月末ERSS伝送予定
	6	設置済み	2022年6月末予定 ⇒ 2022年8月予定
	7	設置済み	ERSS伝送済み (2022年3月)

2022年4月27日面談以降の進捗反映